

全国英語教育学会 (JASELE)
令和 5 (2023) 年度第 1 回理事会 議事録 (案)

■日時：令和 5 (2023) 年 3 月 18 日 (土) 13:00~16:30

■会場：なし (Zoom によるオンライン理事会)

■参加者：深澤清治 (会長), 松沢伸二 (副会長・会長代行), 久保田佳克 (副会長, 理事・東北), 笠原究 (理事・北海道), 志村昭暢 (理事・北海道), 佐藤博晴 (理事・東北), 西垣知佳子 (理事・関甲信), 加藤茂夫 (理事・関甲信), 田中武夫 (理事・中部), 泉恵美子 (理事・関西), 横川博一 (理事・関西), 猫田英伸 (理事・中国), 小山尚史 (理事・中国), 齋藤嘉則 (理事・四国), 長崎政浩 (理事・四国), 石原知英 (理事・九州)

<以下, オブザーバー>

三ツ木真実 (幹事・北海道), 臼倉美里 (幹事・関甲信), 篠村恭子 (幹事・中国), 水野康一 (幹事・四国), 麻生雄治 (幹事・九州), 佐久間康之 (紀要編集委員長), 宮迫靖静 (紀要編集副委員長), 金子淳 (紀要編集事務局長), 中住幸治 (香川研究大会事務局長), 鬼田崇作 (事務局長), 山内優佳 (事務局長補佐), 森好紳 (学生支援部)

- 議事に先立ち, 深澤会長の挨拶が行われた。
- 志村昭暢北海道大会事務局長より, アンケート結果をもとに全国英語教育学会第 47 回北海道研究大会の報告があった。
- 参加者による自己紹介が行われた。

■議題：

1) 令和 5 年度新役員 (案)

鬼田崇作事務局長より, 資料 1 にもとづき, 新役員名簿が確認され, 審議の末, 一部修正のうえ承認された。4 月以降に所属変更, その他の誤り等がある場合は, 鬼田事務局長へ連絡することとなった。

2) 第 48 回香川研究大会実施要綱 (案)

齋藤嘉則大会実行委員長, 中住幸治大会事務局長, 水野康一四国英語教育学会事務局より, 資料 2 にもとづき説明がされ, 審議の末, 一部修正のうえ承認された。

3) 令和 4 年度決算 (案)

猫田英伸財務部長より, 資料 3 にもとづき, 決算案が示された。審議の末, 原案に 3 月 31 日までの情報を加えたうえで, 会計監査を受けることが承認された。

4) 令和 5 年度予算 (案)

猫田英伸財務部長より, 資料 4 にもとづき, 予算案が示された。審議の末, 原案に 3 月

31日までの情報を加えものを確定版とすることが承認された。

5) 第49回福岡研究大会実施要綱（経過報告）

石原知英大会事務局長より、資料5にもとづき、大会の詳細が説明され、審議の末、一部修正のうえ承認された。

6) 全国英語教育学会紀要 ARELE 34号の編集について

宮迫靖静編集紀要委員長（2022年度）より、資料7（資料A）にもとづき、活動報告及び査読結果の報告があり、審議の末、原案のとおり承認された。また、紀要編集委員会の体制強化を検討することについて提案された。

7) 全国英語教育学会・学会賞（案）

宮迫靖静編集紀要委員長（2022年度）より、資料7（資料B）にもとづき、学会賞（学術奨励賞、教育奨励賞）受賞者の案が示され、審議の末、原案のとおり承認された。

8) 学会誌 ARELE のウェブ公開方法の一部変更について

深澤清治会長より、資料8にもとづき、ARELE 第34号より最新号の情報を一部ウェブ（J-Stage）公開することが提案され、審議の末、原案のとおり承認された。

9) 2025年度以降の各地区ローテーション（案）について

鬼田崇作事務局長より、資料9にもとづき、2030年度までのローテーション案が示され、原案のとおり承認された。

なお、紀要編集委員長・副委員長の選出について、2018年度理事会による決定にもとづき、北海道地区と四国地区は合同ブロックとしている。2019-2020年度には北海道地区が委員長を担当したことを受け、2029-2030年度編集副委員長および2031-2032年度編集委員長は四国地区から選出する。以後、北海道地区・四国地区の合同ブロックによる紀要編集委員長および副委員長の担当者については、北海道地区、四国地区から交互に選出を行うことが確認された。

10) 事務局内各部における活動について（経過報告）

- ・ 篠村恭子財務副部長より、資料10にもとづき、活動報告がなされた。賛助会員からは対面による学会開催が望まれている。
- ・ 長崎政浩研究／大会企画部長より、資料11にもとづき、活動報告がなされ、ワークショップについて、実施形態や時間について限界があったことが説明された。2022年度及び2023年度の英語教育セミナーの開催予定について確認され、原案のとおり承認された。
- ・ 鬼田崇作事務局長（石井雄隆広報／通信部部長の代理）より、資料12にもとづき、Newsletterの発行状況、JASELEウェブサイトの更新状況、Twitterの運用状況について活動報告がなされた。
- ・ 森好紳学生支援部部長より、資料13にもとづき、体制の変更、香川研究大会の予定が

説明された。大会が対面実施されることに伴い、研究大会参加助成制度を再開することが了承された。香川研究大会における大学生・大学院生フォーラムの使用教室については、大会事務局と連携しながら決定することが確認された。

11) その他

特になし

■報告事項：

1) 英語教育セミナーの開催について

鬼田崇作事務局長より、2022年度の英語教育セミナーの開催について報告がなされた。

2) 言語系学会連合運営委員会と意見交換会について

鬼田崇作事務局長より、資料 14 にもとづき、言語系学会連合の運営委員会及び意見交換会の報告がなされた。共催事業として、関東甲信越英語教育学会の月例研究会が掲載されている。

3) 言語系学会連合との共催事業について

鬼田崇作事務局長より、資料 15 にもとづき、2023年度の共催事業として、関東甲信越英語教育学会の月例研究会(2023年10月)の応募を行い、採択されたことが報告された。

4) 関連学術団体などのイベントについて

鬼田崇作事務局長より、資料 16 にもとづき、Web サイト掲載のイベントが紹介された。

5) 学会 50 周年記念事業について

久保田佳克編集委員より、資料 18 にもとづき、『全国英語教育学会 50 年沿革史』の編集について進捗が説明された。2025年3月には公開または刊行予定である。

横川博一編集委員長より、記念誌の編集について進捗が説明された。第 50 回大会が開催される年である 2025年3月に刊行予定である。

6) 顧問会議について

鬼田崇作事務局長より、北海道研究大会において、顧問会議が行われたことが報告された。また、「理事会申し合わせ事項」にもとづき、顧問会議の開催について、情報共有がなされた。

7) 国立国会図書館からのウェブサイト保管の申し出について

鬼田崇作事務局長より、3つの JASELE 関連 Web サイトを WARP 事業の対象に加えることを、会長・事務局長が確認のうえ承認した旨が報告された。

志村昭暢理事より、今後、WARP 事業の対象となる北海道研究大会のウェブサイトを開じることは可能かとの質問があり、鬼田崇作事務局長が国立国会図書館へ確認し、その返答をもとに、志村昭暢理事と連携の上、対処することとなった。

8) その他
特になし